

【p.86～p.91】 洋子の播州歌舞伎 —伝統の若き継承者—

1 資料活用にあたって

- 伝統をつなぐ意味を考え、伝統を継承する意欲をもつ主人公の洋子の心を考える資料であり、内容項目は4-(9)として扱う。
- 内容項目4-(9)では、我が国について客観的に広い視野から認識を深めるとともに、我が国固有の優れた伝統と文化などそのよさについて理解を深め、その価値を継承し新たな文化を創造していこうとする態度の育成を図ることが大切である。

2 資料の読み方のポイント

- 変化するのは：洋子（子どもが「洋子」の立場で考えられるように発問を工夫する。）
- 変化するきっかけ（助言）は：由香里の言葉と綾子の言葉
- 変化するところは：しかしいつの間にか、それも忘れ、無心に演じていた。

3 読み物資料の素材について

【参考文献等】

- ・ 播州歌舞伎ハンドブック 播州歌舞伎ファンクラブ編
- ・ 播州歌舞伎公演映像（多可町ケーブルテレビ：多可町芸能フェスタ他）

【参考URL】

- ・ 多可町中央公民館播州歌舞伎クラブ（多可町HP）  
http://www.takacho.jp/chukou/chuko/kabuki2.html
- ・ 多可町立中町北小学校（歌舞伎クラブ）  
http://www.takacho.jp/nakakita/Kabuki/kabuki\_index.html
- ・ 南光子ども歌舞伎クラブ（佐用郡佐用町・三河小学校）  
http://www.town.sayo.lg.jp/kanko/kanko/detail\_info/n\_kabuki/index.html
- ・ 農村歌舞伎「葛畑座」（養父市関宮町）  
http://www.city.yabu.hyogo.jp/www/kankou/history/shiseki/shiseki09.html

【訪れたい場所】

- ・ 播州歌舞伎メモリアル  
ふるさと工房夢蔵 〒679-1115 兵庫県多可郡多可町中区天田340-1 TEL：0795-32-4477
- ・ 歌舞伎舞台  
那珂ふれあい館 〒679-1105 兵庫県多可郡多可町中区東山539-3 TEL：0795-32-0685

○ 播州歌舞伎のルーツ

- ・ 加西市北条町の東高室という村にあった「高室芝居」と云われている。この農村舞台で芝居をしていた役者で、特に播州地方に住む人たちやその人たちの座を「播州歌舞伎」という。都会の大歌舞伎や小芝居とも違った独特の演技演出・外題を伝えている。庶民の生活感情に密着し、庶民を楽しませる事にすべてをかけ、その芸風は活気に満ちた大胆な動きを常とする。

○ 播州歌舞伎の保存・継承について

- ・ 多可郡では、平成6年度に、中学生・高校生・社会人を対象にした「中央公民館播州歌舞伎クラブ」が発足した。また、「播州歌舞伎ファンクラブ」（平成13年）、多可町キッズ歌舞伎（平成21年）などが結成され、郷土の伝統文化を保護し、継承、支援する活動が、世代を超え、地域住民を巻き込みながら、幅広く展開されるに至っている。

4 展開の具体例

- ・ **主題名** 伝統を受け継ぐ 4-(9)
- ・ **資料の概要** 地域の「播州歌舞伎クラブ」で活動する洋子は、吹奏楽部との両立で悩みながら播州歌舞伎の練習を続ける意味を考える。歌舞伎クラブの先輩の由香里を支えているのが「伝統芸能をつないでいる心地よさや責任感」であることを知り、また、友だちの綾子から自分が生き生きと歌舞伎に打ち込んでいることを教えられて迷いが消えた洋子は、練習でいつの間にか無心に演じるようになる。本番当日、幕が下りた舞台で由香里と抱き合いながら、洋子は「伝統をつなぐ」の意味が本当にわかったことに気づく。
- ・ **ねらい** 由香里の伝統を受け継ぐ思いについての話や、綾子から歌舞伎に打ち込んでいる自分の姿について教えられたことをきっかけに道徳的に変化する洋子を通して、優れた伝統を継承しようとする道徳的実践意欲を育てる。

・ 展開の具体例

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応
導入	・今日の資料に興味を持つ。	副読本P91の写真（播州歌舞伎の公演）を見ましょう。
展開	・資料の範読を聞きながら黙読をする。 ・自転車のペダルを強く踏み込んだ主人公の気持ちを考える。	洋子はどのような気持ちから、自転車のペダルを強く踏んだのでしょうか。 ・部活のみんなには悪いけど、今は歌舞伎に行こう。 ・部活と歌舞伎の両立で悩むのは、もうこれきりにしたい。
	・由香里の背中を見つめた時の主人公の気持ちを考える。	更衣室に入っていき由香里の背中を見つめながら、洋子はどんなことを思っているのでしょうか。 ・由香里先輩は、伝統をつなぐことを考えていたのか。 ・私は、伝統なんてことを考えたことなかったな。 ・由香里先輩も続けることに迷ったことがあったんだ。
	・師匠の声で我に返った主人公の気持ちを考える。	師匠の声で我に返った洋子は、どんなことを考えたのでしょうか。 ・私、やっぱり歌舞伎が好きなんだ。 ・こうやって歌舞伎を続けることに大きな意味があるんだ。 ・もう迷わない。
終末	・自分の考えを書く。	洋子はどんな気持ちで、「由香里さんが『伝統をつなぐ』と言った意味が本当にわかった。」と言ったのでしょうか。 ・伝統をつなぐのは私たちなんだ。 ・こうやって今まで伝統をつないで来たんだ。 ・私も由香里先輩に続こう。
		自分の考えを道徳ノートに書きましょう。

部活と歌舞伎の両立に悩む主人公の心に共感させる。

由香里が「伝統をつなぐ」ということを考えていたことを知り、主人公に「伝統を継承する」という意識が起きていることをおさえる。

由香里の伝統を受け継ぐ思いと綾子の言葉がきっかけとなり、迷いがふっきれたことをおさえる。

たくさんの観客からの拍手を受け、主人公が「伝統を受け継ぐ担い手になる。」という実践意欲を強めていることをおさえる。